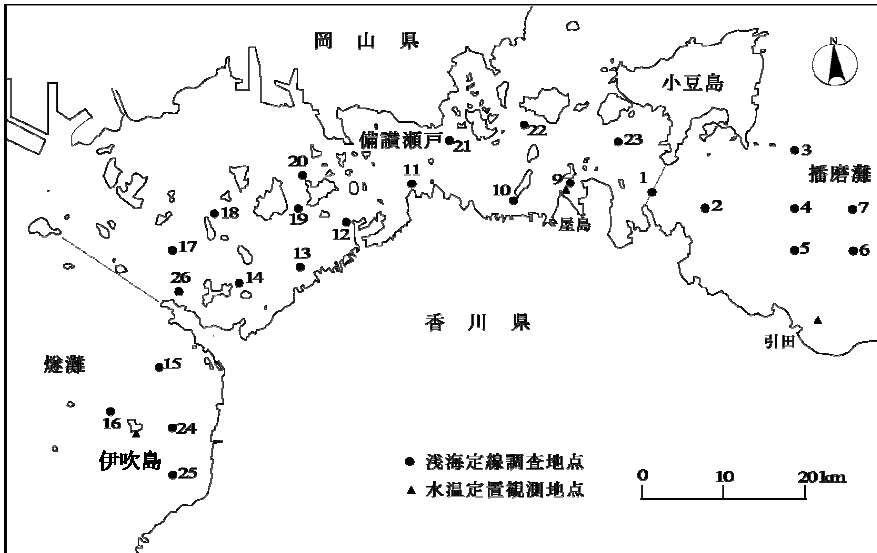


香川県漁海況情報 令和元年10月 (R1-7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

令和元年10月1日 (播磨灘), 2日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高め」から「かなり高め」、塩分は「平年並み」、透明度は「やや高め」から「かなり高め」、溶存酸素は「著しく低め」から「平年並み」であった。

10月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	26.2	25.8	25.5	31.7	31.7	31.9	9.0	3.66	3.21
	平年値	25.1	25.0	24.9	31.7	31.8	31.9	7.0	4.39	4.10
	平年偏差	1.1	0.8	0.7	-0.1	-0.1	-0.1	2.0	-0.73	-0.89
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	2.5	0.31	0.44
	状況	かなり高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	著しく低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	26.4	26.4	26.4	31.4	31.4	31.4	6.6	3.98	4.04
	平年値	24.9	24.8	24.8	31.6	31.7	31.7	4.0	4.25	4.17
	平年偏差	1.5	1.6	1.6	-0.2	-0.2	-0.2	2.6	-0.27	-0.13
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	1.6	0.35	0.33
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	やや低め	平年並み
燧灘	4地点平均値	26.7	26.4	26.2	31.5	31.8	31.8	12.7	4.41	3.45
	平年値	24.8	24.6	24.5	31.9	32.1	32.2	7.8	4.67	4.06
	平年偏差	1.9	1.8	1.7	-0.4	-0.3	-0.3	4.9	-0.26	-0.61
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.2	0.8	0.8	0.7	2.8	0.43	0.73
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	やや低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和56年(1981)1月～平成22年(2010)12月

溶存酸素：昭和56年(1981)2月～平成22年(2010)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

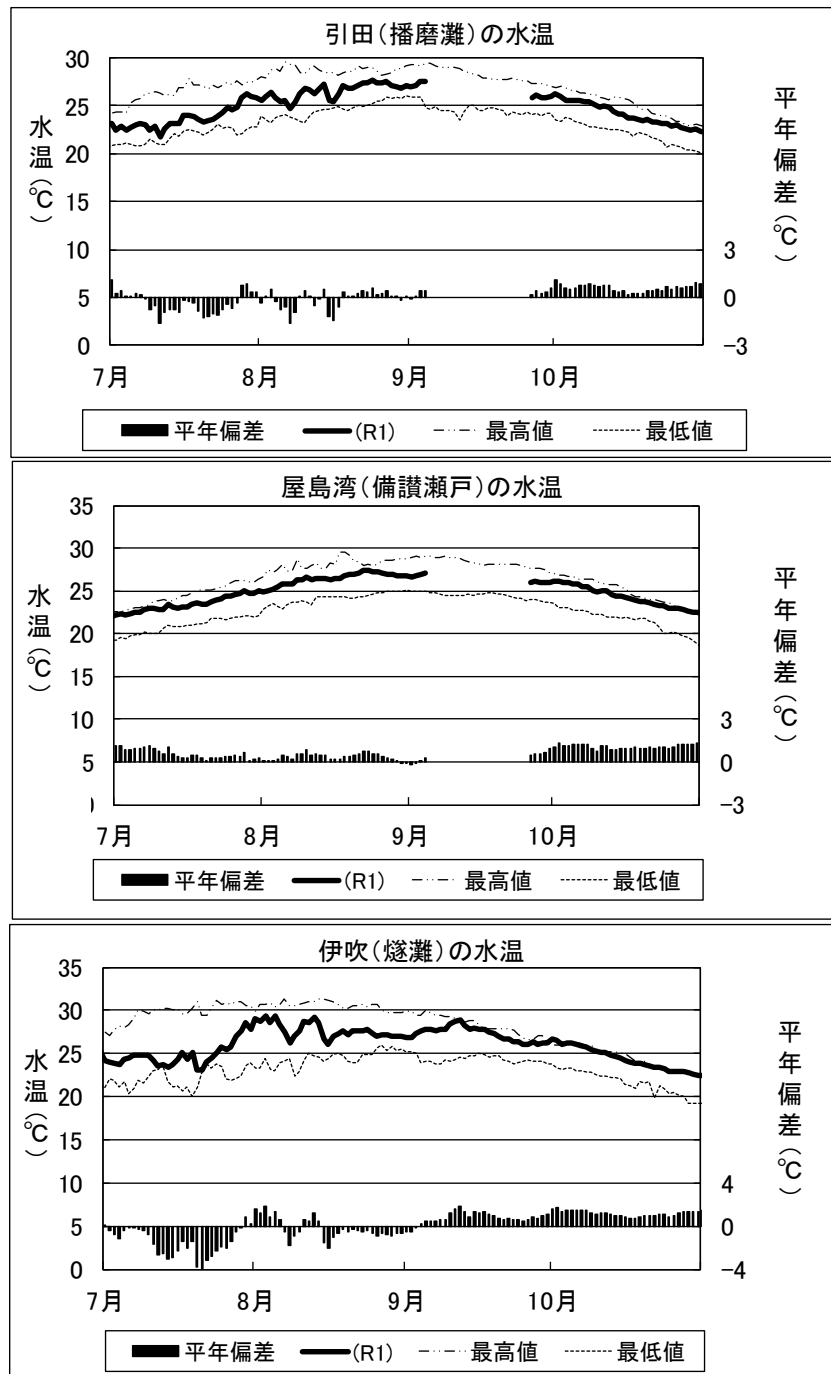
播磨灘 (引田) : 7・8月はかなり低めからやや高め, 9月はデータ転送システムのトラブルにより5日から25日まで欠測だったが, 平年並みからやや高め, 10月は平年並みからかなり高めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 7月は平年並みからかなり高め, 8月は平年並みからやや高め, 9月はデータ転送システムのトラブルにより5日から25日まで欠測だったが, 平年並みからやや高め, 10月はやや高めからかなり高めで推移している (10月下旬に2日, 過去最高値を更新)。

燧灘 (伊吹) : 7月は著しく低めから平年並み, 8月はやや低めからやや高め, 9月は平年並みから著しく高め, 10月はやや高めから著しく高めで推移している (10月上旬に4日, 下旬に7日, 過去最高値を更新)。

※燧灘の水温測定箇所は、平成31年4月1日から伊吹島地先へ変更されているが、平年値は従来どおり大浜地先におけるデータを使用している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成30 (2018) 年
屋島 : 昭和50 (1975) ~平成30 (2018) 年



4) 赤潮 (10月1日～10月31日)

播磨灘：発生なし
 備讃瀬戸：発生なし
 燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：令和元年10月1日 (播磨灘)，2日 (備讃瀬戸，燧灘)
 出現量 (個・尾／曳網)

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	平年値	1.9	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	163.5	0.0	-	-		
燧灘	平均値	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	平年値	1.9	0.4	0.0	0.0		
	対平年(%)	517.6	0.0	-	-		
総平均	平均値	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
	平年値	1.0	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	249.8	0.0	-	-		

—：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

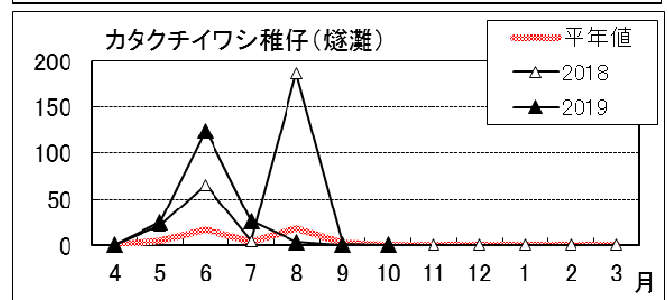
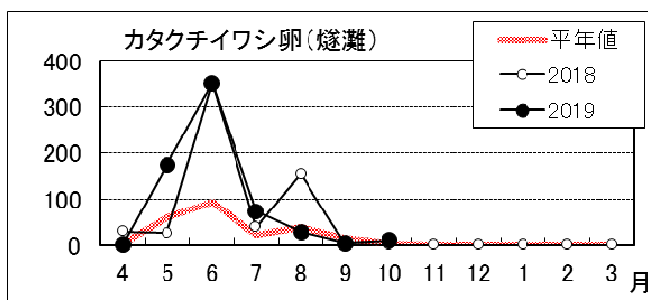
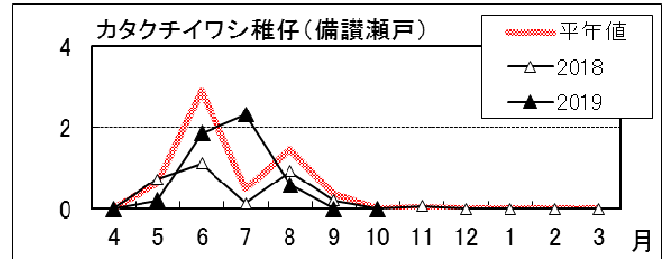
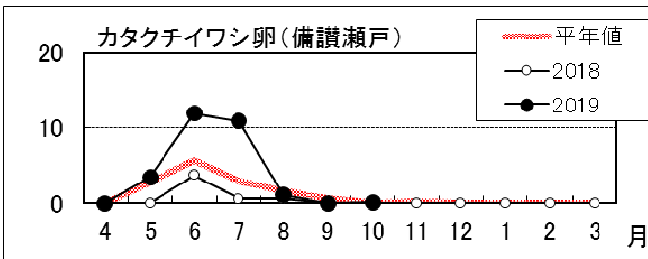
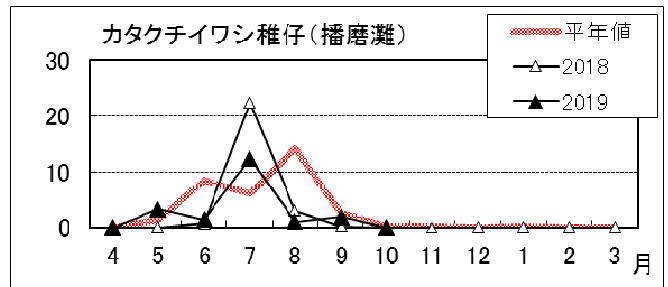
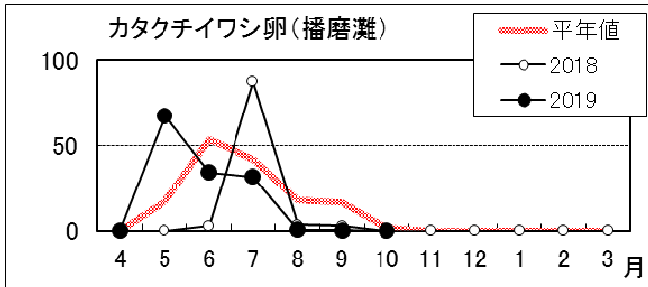
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成30(2018)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成30(2018)年度

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていない。

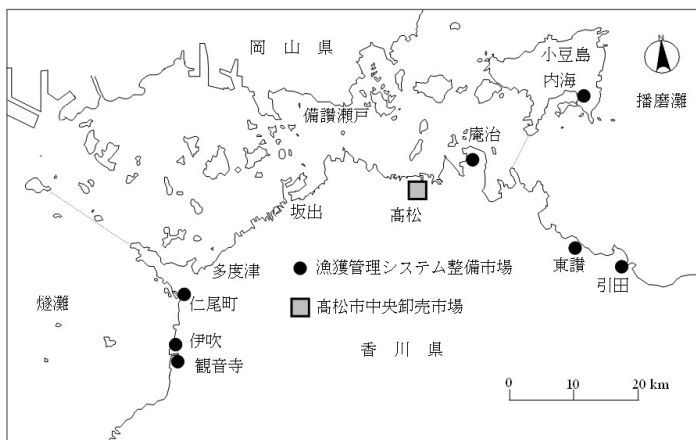
*イカナゴの卵は、沈性弱粘着卵のため、プランクトンネットではほとんど採集されない。



2. 漁況

1) 主要魚種の漁獲動向

次の地図に示す市場から収集した情報に基づいて漁獲動向を整理した。



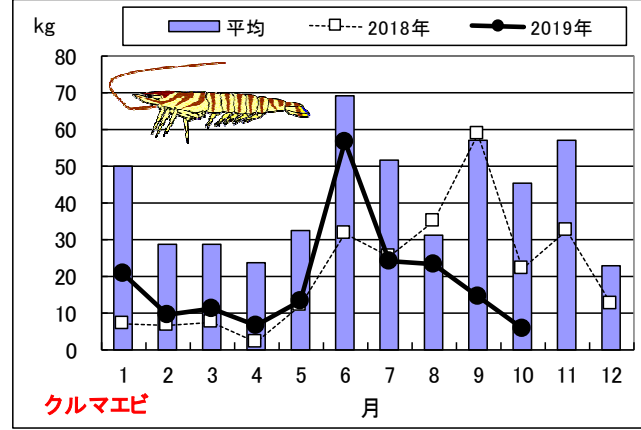
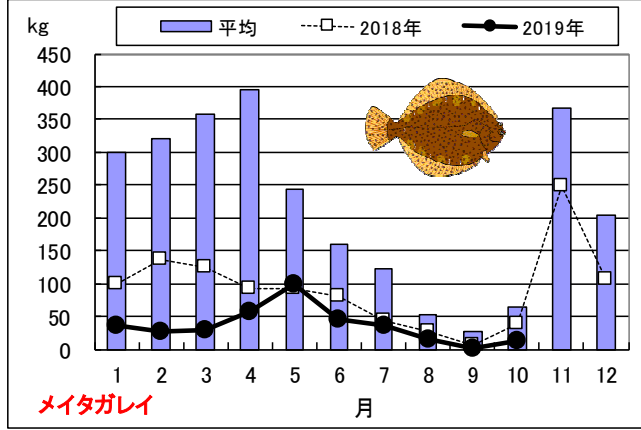
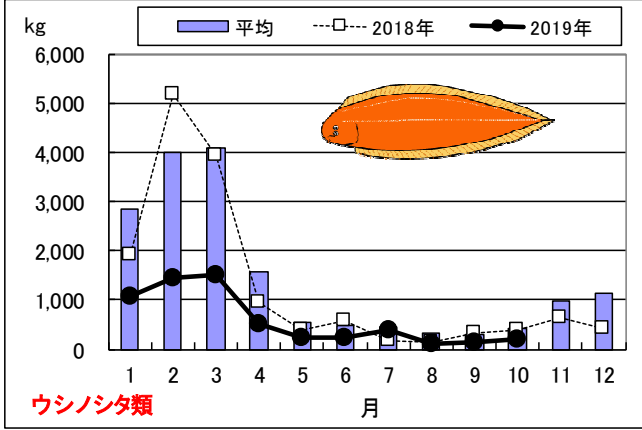
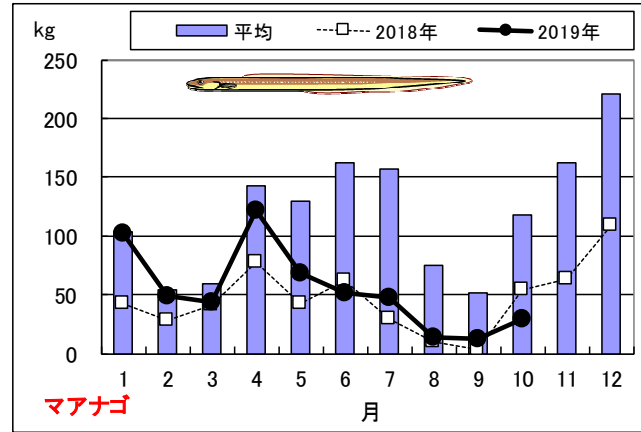
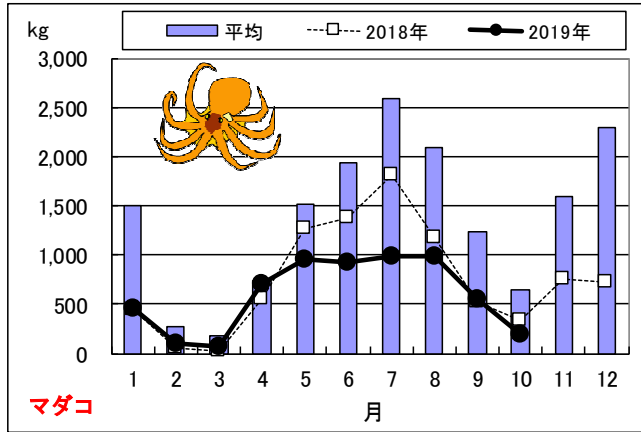
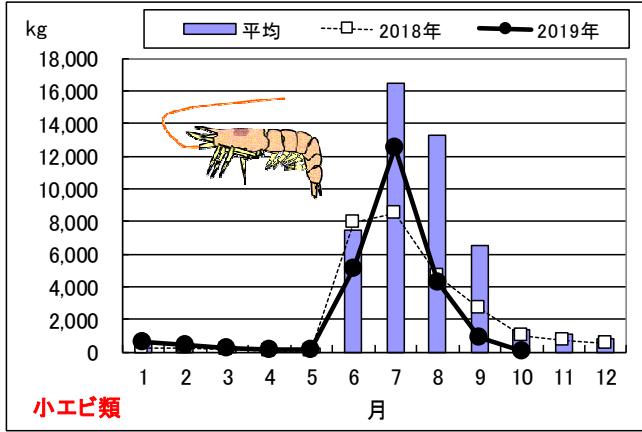
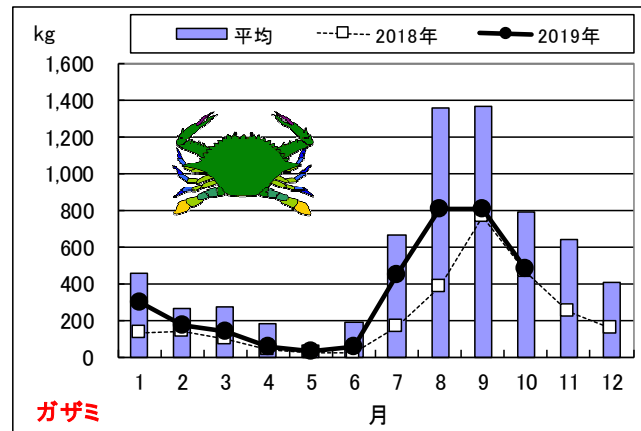
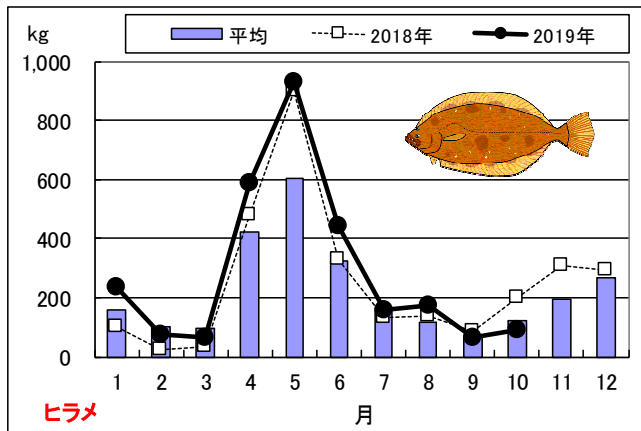
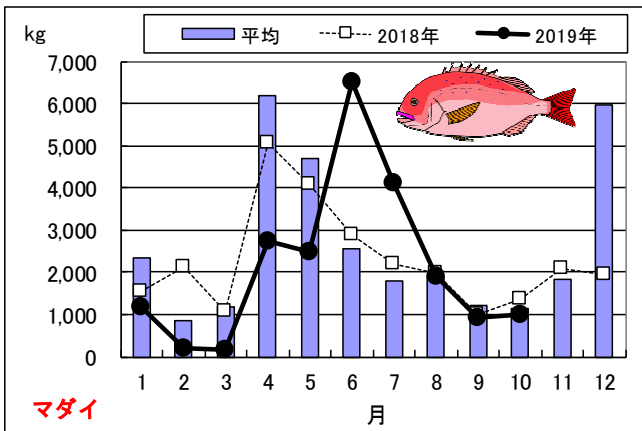
過去10ヶ年平均値と比較した海域別魚種別漁獲動向

令和元年10月の漁獲動向	播磨灘 (引田+東讃+内海)	備讃瀬戸 (庵治)	燧灘 (仁尾町+観音寺+伊吹)
マダイ	▬	↓	▬
ヒラメ	↓	↓	▬
ガザミ	↓	↓	▬
小エビ類	↓	↓	↓
マダコ	↓	↓	▬
マアナゴ	↓	↓	↓
ウシノシタ類	↓	↓	↑↑
メイタガレイ	↓	↓	↓
クルマエビ	↓	↓	↓

過去10ヶ年平均値比	≥200%	200% > ≥160%	160% > ≥120%	120% > ≥80%	80% > ≥40%	40% > ≥0%
判定	著しく多い	かなり多い	多い	平年並み	少ない	かなり少ない
表示	↑↑	↑	↗	▬	↘	↓

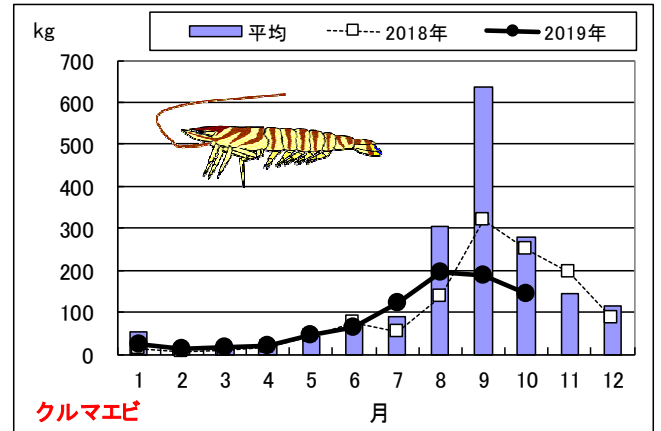
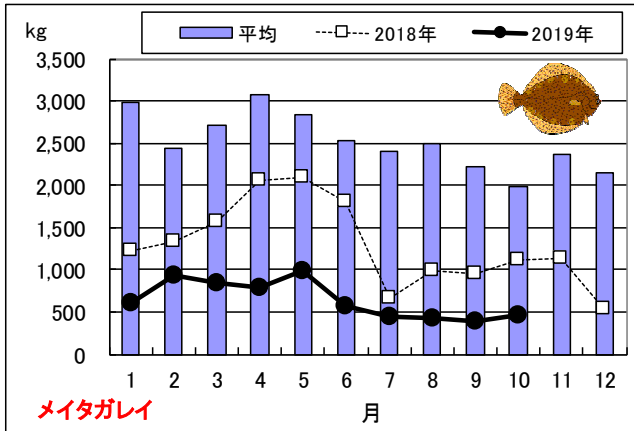
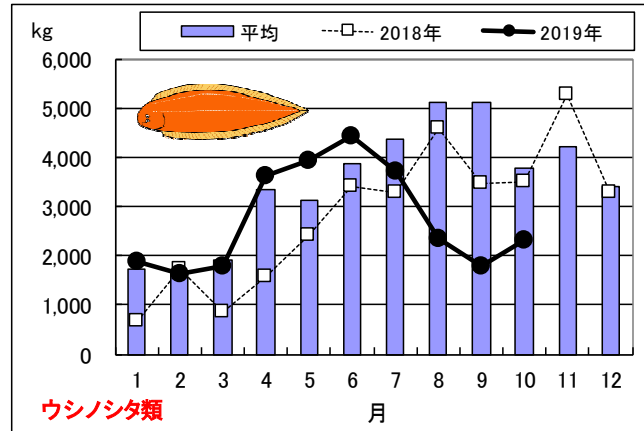
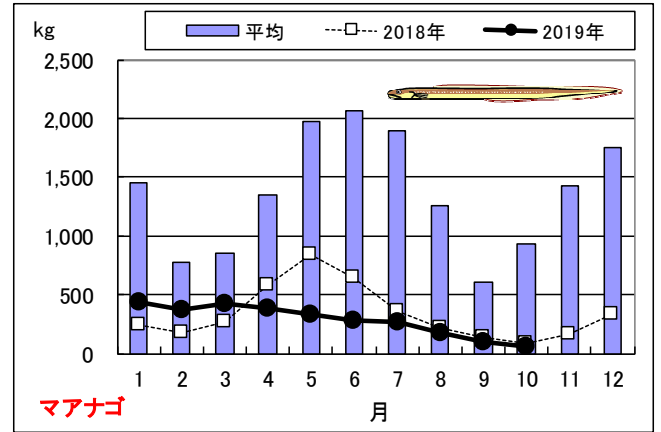
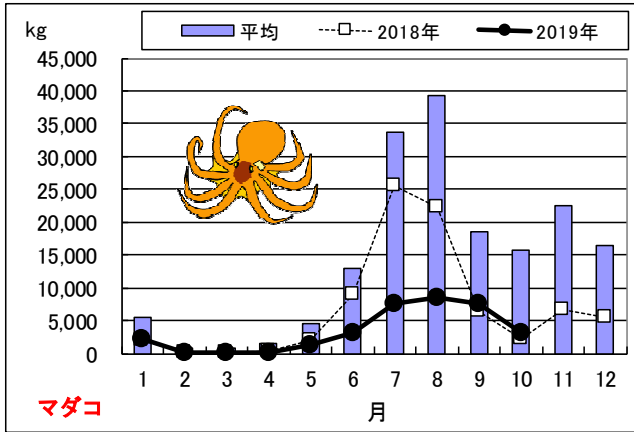
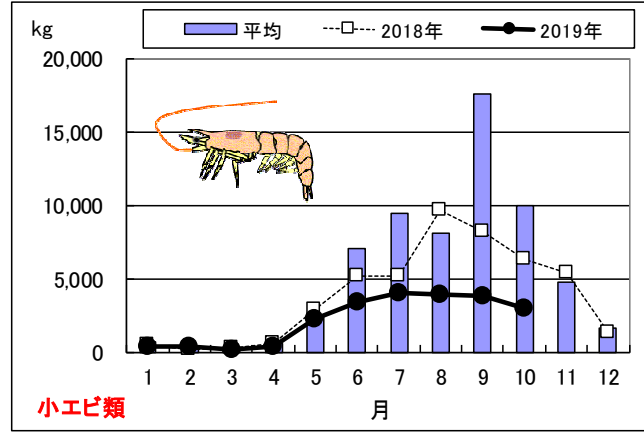
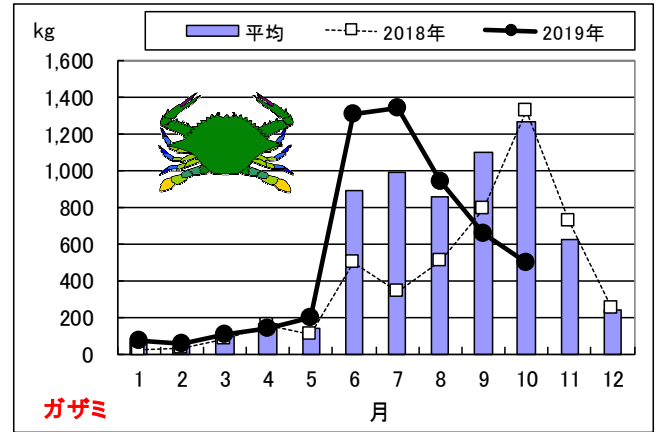
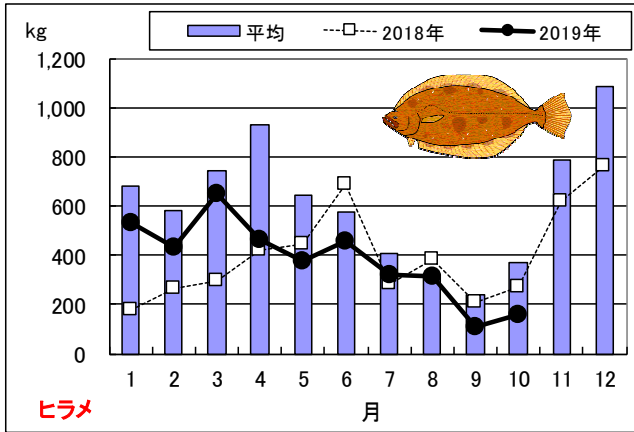
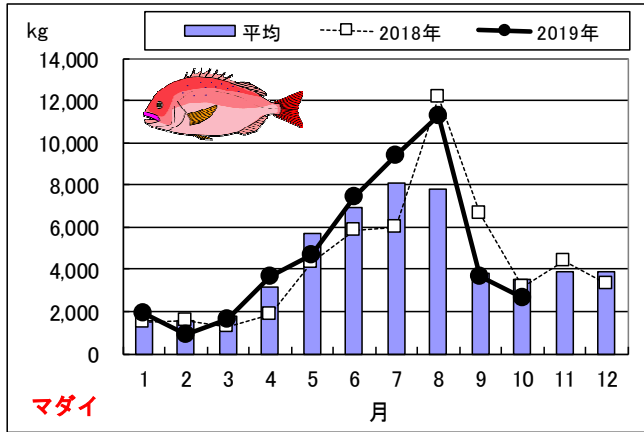
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2009年から2018年の10年間の平均。



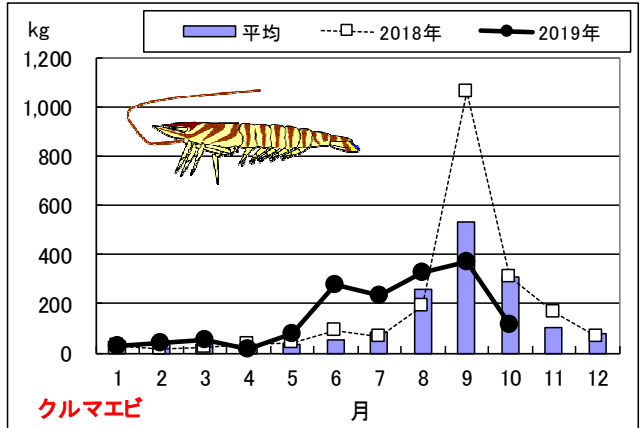
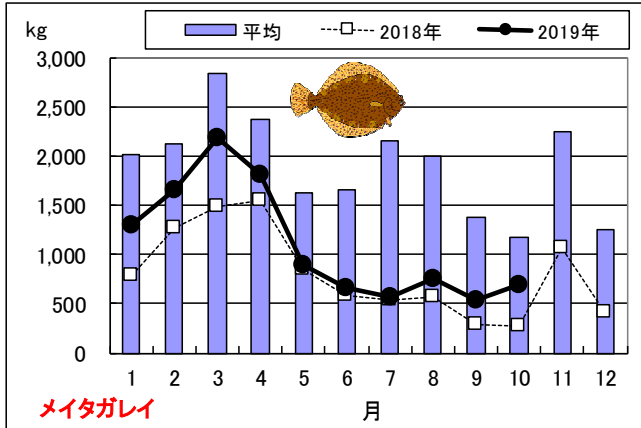
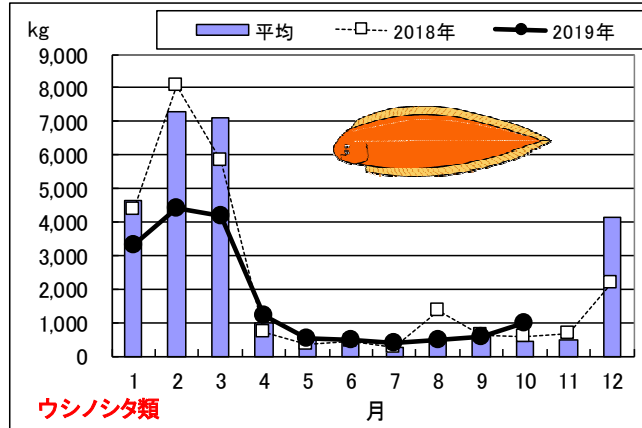
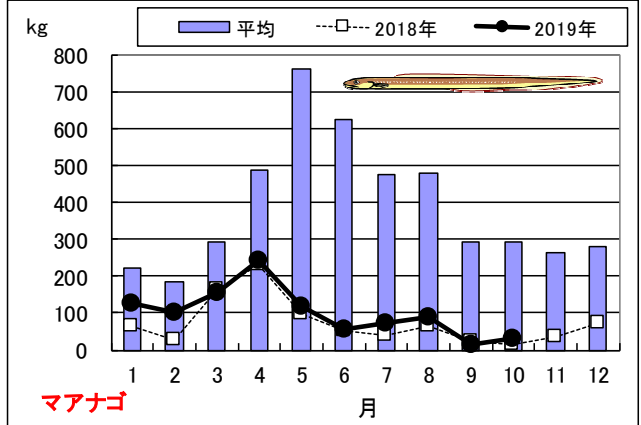
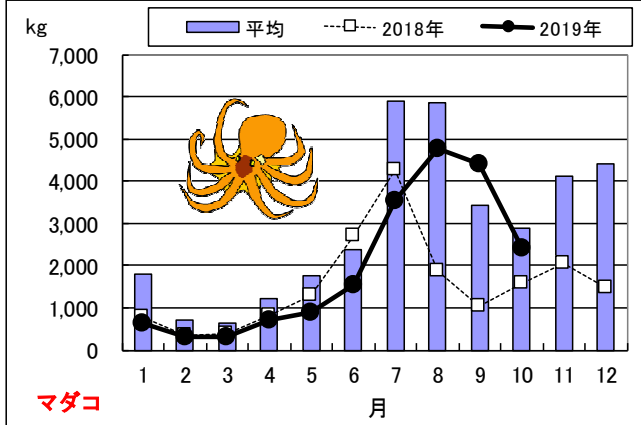
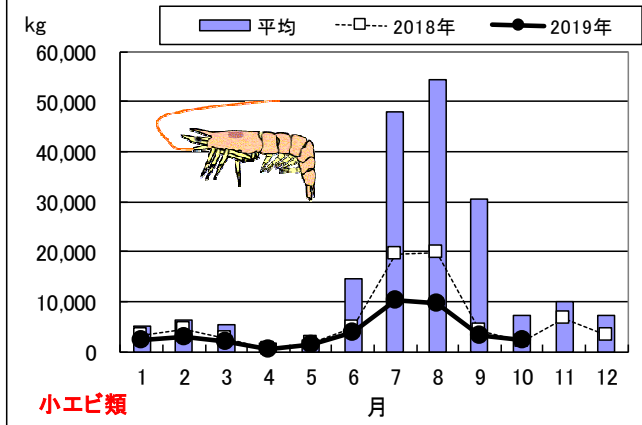
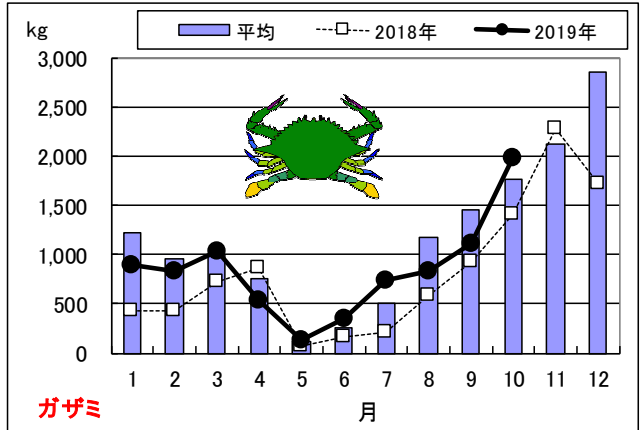
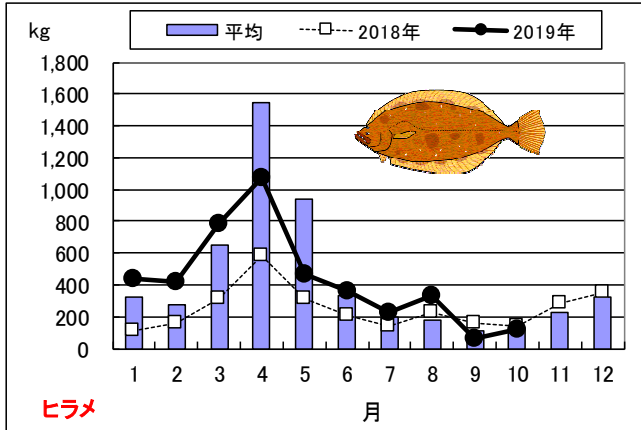
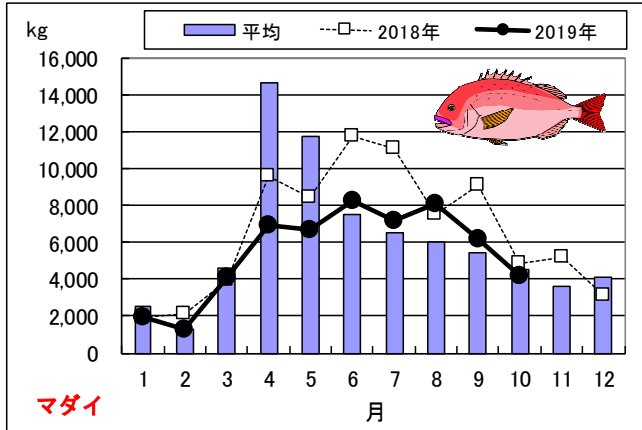
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2009年から2018年の10年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） T A Cシステムデータより

平均値は、2009年から2018年の10年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2009年から2018年の10年間の平均。

